

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	桑野 愛	高校生の音楽1 (教育芸術社)
必履修 学校必履修 <input type="radio"/> 必修選択 <input type="radio"/> 自由選択		

## ◆学習の目標

- ・音楽の諸活動を通して感性や表現力を高め、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育む場として、多くの教材を提供しながら音楽の世界観を多角的に捉えられるようにする。
- ・実技表現能力向上に必要な楽典や音楽史の学習を折り込むことで、音楽の視野を広げる。

## ◆主な学習内容・方法

## (1) 実技

歌唱、器楽、リズム表現といった様々な実技を取り上げる。その際、楽譜を深く読み込むことで得られる知識と、実技表現をどう結び付けていくかについて学び、体感することで実技と楽典の乖離、理論学習に対する拒否感を払拭していく。

## (2) 鑑賞

レポートによる調べ学習および発表を行う。一つのテーマを深く掘り下げて調べ、探求することの大切さと面白さを学び、同時に音楽の鑑賞方法の基礎を身に付ける。

## (3) 創作

実技学習の一環として取り扱いながら、楽典の知識も身に付くような学習を行っていく。

## ◆到達目標と評価の観点

到達目標：〔標準〕 ・実技、鑑賞、創作の各学習を介した音楽知識力と音楽表現力の伸長。  
 ・自らが思い描く音楽表現を実践できる音楽実技能力の獲得。  
 〔応用〕 ・各学習を通じて身につけた知識と実技能力をどのような楽曲においても活用できる応用力と楽譜解釈力の獲得。

評価の観点：〔標準〕 ・楽譜に書かれている内容を理解して、実技の各学習に取り組んでいるか。  
 ・授業中の発問に対する反応や、実技練習時の取り組み度合い。  
 ・鑑賞レポートの内容と、発表内容。  
 〔応用〕 ・楽譜を解釈し、楽曲にふさわしい表現方法を自ら考え、工夫する能力。  
 ・実技練習の際に、自分の技能向上はもちろん、周囲の人にアドバイスが出来る音楽知識、コミュニケーション能力、判断力。

## ◆評価の方法

上記の観点について、授業態度、出席状況、実技・筆記試験、レポート提出と授業ノート提出により総合的に判断して評価をする。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）、2学期（28時間）、3学期（16時間）
------	------	-------------------------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技と創作の学習については、授業中に集中して取り組むこと。また、周りの仲間と協力しながら表現力および創造力の伸長を目指して学習方法を工夫すること。</li> <li>・鑑賞の学習は、調べ学習と発表を行うので、書籍・インターネット等を用いて情報収集する能力を養い、課題をこなすこと。</li> <li>・各自オリジナルの学習ノートになるよう、授業ノートを活用すること。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	・歌唱 校歌斉唱 混声2部合唱	10	・楽譜に書かれた音楽表現を生かした歌唱方法の基礎。	楽譜上に書かれていることを自分の声、身体で自在に表現できるよう、各種練習に積極的に取り組むこと。歌唱以外の学習にも能動的に取り組み、音楽に対する視野を広げること。
	5	・リズム クラッピングミュージック	8	・リズム学習の基礎	
	6	・創作 リズム創作 ハーモニー創作	8	・楽典の基礎理解と簡単な創作活動	
	7				
2 学期	8	・器楽、歌唱 クラシックギター 基礎	8	・クラシックギターの演奏技能習得。また、クラシックギターの演奏に合わせて合唱を行い、グループでアンサンブル表現を行う。コードネームの理論学習も行う。	器楽については、グループで協力しながら技能習得と表現力向上を目指すこと。  レポート学習を通してプレゼンテーション能力を磨くこと。また、鑑賞態度も身に付けること。
	9				
	10	グループアンサンブル基礎	20	・「私の薦めるこの1曲」と題し、各自が調べ学習を行いレポート発表をする（毎時間3人ずつ）。	
	11				
12	・鑑賞 レポート発表				
3 学期	1	・歌唱 混声4部合唱	16	・合唱コンクールに向けて、楽曲を理解し、表現していく。	1年間のまとめとして、各種実技に積極的に取り組むこと。
	2	・鑑賞 レポート発表		・2学期に引き続きレポート発表を行う（毎時間3人ずつ）。	
	3				